

## 第1回駿河海岸整備検討会 議事要旨

日 時 平成27年3月25日(水) 10:00～10:50  
場 所 サンパレスホテル (2F スターパレス)  
出席者 焼津市副市長、牧之原市長、吉田町長  
静岡県 交通基盤部河川砂防局長、港湾局長、森林局長  
危機管理部中部危機管理局副局長  
中部地方整備局 河川部長、静岡河川事務所長

### <議事>

#### (1) 駿河海岸整備検討会規約

規約(案)について了承された。

#### (2) 地震・津波から被害を軽減するための海岸整備に向けて

##### 【直轄海岸の整備の考え方について】

##### (事務局)

各施設管理者は、L1津波に対しての整備と、それを超える津波での粘り強い効果を発現する堤防の整備が基本。背後地の条件が異なるため、具体の整備の姿については、検討会で示された全体の考えに基づき検討するものとし、事業手法、管理の考え方についても検討の中で整理する。スケジュールとしては、平成27年夏頃を目途に取りまとめたいと考えている。

##### 【静岡県の海岸等の整備の考え方について】

##### (河川砂防局長)

静岡県における津波対策は、L1津波は施設による対応、L2津波はハード対策とソフト対策を組み合わせた「多重防御」を基本としており、アクションプログラムに基づいた施設整備を進める。静岡県は、L2津波に対し、避難だけでは人命を守ることは難しいことから、管理者が行う対策と静岡モデルという背後地を利用してつくる新たな施設を多重的に活用した対応を考える。

##### (港湾局長)

駿河海岸では、港湾と漁港が点在しており、対策にばらつきがないよう関係機関と連携していく。漁港施設は、L1を超える津波に対しても、防波堤を粘り強くすることで減災をはかる。

##### 【各市町の津波防災の取り組みについて】

(焼津市) 緑の防潮堤整備のための苗木の育成を、平成27年から着手し、盛土に必要な土砂を確保するよう手配している。

(牧之原市) 防潮堤整備についても、各地区で防潮堤を考える会を開催し、意見集約を行った。

L1対策は早期実現に向けて優先して推進していく。L2対策については、地元(各地区の防潮堤を考える会)の意見としていろいろあり、今後も市民と合意形成を図りながら事業を進めて行く。

(吉田町) 町の津波対策は、L2 対応しか選択肢はない。国、県の全面的なバックアップを願う。

【会員からの意見】

(牧之原市長)

浜松市などで L2 対策が進められているが、整備の基準がバラバラと感じる。駿河海岸は、統一して欲しい。

(河川砂防局長)

海岸整備については、L1 までは施設管理者でしっかり対応し、L2 については、静岡モデル推進検討会の議論も踏まえ、この検討会と調整して進めていきたい。

(河川部長)

L1 津波対策は、しっかりと対応していく。L1 津波を超えるものは、背後の状況により対応が異なるので、一律に統一することは難しいと考えるが、地域の実状に合わせ、検討会の中でしっかり対応していきたい。

(吉田町長)

吉田町としては、L2 対応として地元合意もできている。L2 対応も早くやってもらいたい。ポジティブな方針を検討会の中でたててもらいたい。

(焼津市副市長)

沿岸地域は危ないということで人も減っている。海岸施設の整備にあたっては企業が進出し、住民が安心して生活できるよう整備を進めて頂きたいし、バックアップをお願いしたい。

(静岡河川事務所長)

今回の意見を踏まえ、関係機関と検討・調整を行い、平成 27 年夏頃までには、海岸保全のあり方として、駿河海岸の整備計画を立案していく。